平成30年度 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会 (第4回)

■日時: 平成30年10月22日(月)午後3時~4時45分

■場所:市役所412会議室

次 第

- 1 開会
- 2 事務局説明
- 3 議事
 - ・武蔵野市民科教員向け手引の検討
- 4 事務連絡
- 5 閉会

武蔵野市民科教員向け手引の概要と論点

Ⅰ 武蔵野市民科の概要

- 1 武蔵野市民科の趣旨
- (1) 市民性(シティズンシップ)とは何か…2 p
 - 〇武蔵野市民科における「市民性」とは

「社会の一員として、よりよい地域、社会づくりに参画 していく資質・能力」である。



(2)特設教科「武蔵野市民科」を設定する目的…4p

○予測困難な時代を生きる武蔵野市の子どもたちに求められる資質・能力の育成を図るために、 武蔵野市民科を設定する。

2 武蔵野市民科の目標と育成を目指す資質・能力

- (1) 武蔵野市民科の目標…8 р
 - 〇武蔵野市民として、自己・学校・地域・社会の中から課題などを見付け、解決しようと取り組むことをとおして、自他共に幸福な人生の創り手となるために必要な「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育てる。
- (2) 武蔵野市民科で育成を目指す資質・能力…10 p

| | 自立 | 協働 | 社会参画 |
|---------------------------------------|---|-------------------------------|---|
| 主に「知識・技能」の習得に関する項目 | ・自己理解、 | ・他者理解、 人間関係を築 | ・地域や社会的課題などへ |
| | 自己管理 <u>の技能</u> | <u>くための技能</u> | の理解 |
| 主に「思考力・ 判断力・表現力 等」の育成に関 する項目 | ・ <u>情報を活用する力</u> ・クリティカル・シンキン グ(批判的思考) | ・ <u>目標達成に向けた他者と</u> の協力 | よりよい地域・社会 づくりに向けた課題解決能力 |
| 主に「学びに向かう力や人間性等」の涵養に関する項目 | ・規範意識、責任感 | よりよい生活を協力して | ・公共心や、社会連帯の自 |
| | ・自尊感情 <u>(自己肯定感)</u> | 築こうとする態度 自己有用感 | 覚 |

3 武蔵野市民科の内容

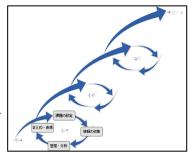
(1)教育課程上の位置付け…16 р

- 〇武蔵野市民科は、小学5年から中学3年までにおいて、総合的な学習の時間、各教科、特別の 教科 道徳、特別活動等を教科横断的に組み合わせ、各学年で年1単元以上実施する。
- <u>〇特別支援学級においても、子どもたちの実態に応じ、武蔵野市民科の趣旨を踏まえた指導計画</u>を年間指導計画にできるだけ1単元以上位置付け、実施していくこととする。

(2) 学習の基本的な考え方…18 p

○武蔵野市民科では、「市民性」育成のために、子どもたちの発達段階に応じた探究的な学習過程を積み重ねていく。





(3)取り扱う学習テーマの例…20p

- キャリア発達**教育** 安全**教育**・防災**教育** 福祉・ボランティア <u>※学習テーマの</u>
- ・まちづくりへの参画 ・武蔵野の魅力発信 ・主権者教育

配列を変更

- 環境**教育**
- 国際理解**教育**
- 伝統 文化理解
- ・セカンドスクール
- 〇これらの学習テーマの例から 1 つ選択する、あるいは複数選択する、<u>これらを参考に市民性育</u> 成に相応しい新たな学習テーマを設定するなどし、具体的な単元計画を設定していく。
- <u>〇学校がセカンドスクールを武蔵野市民科と連動させる場合は、武蔵野市民科の単元計画と、セ</u>カンドスクール実施計画書の関係について、武蔵野市民科を試行する中で検討していく。

4 指導計画作成・実施にあたっての留意事項

- (1) 単元計画作成の実際…26 p
 - 〇武蔵野市民科では、育成を目指す資質・能力を明らかにした上で単元計画を作成し、その観点 から子どもたちの変容を成果にまとめる。(書式は裏面)
- (2) 武蔵野市民科の評価方法…28 p
 - ○武蔵野市民科における評価は、中核となる教科等における評価を基本とする。多くの場合は、 総合的な学習の時間における評価が基本となるものと考える。
 - ○通知表には、武蔵野市民科の欄を設ける。そして何の教科等の欄にその評価が記載されている かが分かるように「武蔵野市民科の評価は『総合的な学習の時間の欄に記載』」などと示す。市 教育委員会はそのための準備を行う。
 - 〇従って、保護者には個人の取組状況とその成果を通知表の総合的な学習の時間の欄等で報告する。各教科や特別の教科道徳等において大きな変容が見られる場合は、所見欄に記載する場合もある。
- (3) 実施にあたっての配慮事項…29p
 - 〇地域・保護者・関係機関との連携
 - ○武蔵野市民科実施にあたっての準備及び試行期間の設定

平成31年度から2年間を準備及び試行期間とし、各学校の指導計画作成や試行・検討を行う。 各学校の取組を支援するため、武蔵野市民科カリキュラム検討委員会(仮称)を設置する。

○保護者や地域への情報発信

Ⅱ 武蔵野市民科の実践事例等

- 1 実践事例…32p
- 2 実践モデル案…40p
- Ⅲ 武蔵野市民科の関連資料
 - 1 武蔵野市民科に関連する資料…47p
 - 2 武蔵野市民科の経緯…51p

議論①文言の変更や新たに加えた部分に関する意見・質問・代案等はないか。

議論②手引の内容として気になる部分はあるか。

手引全体の構造、武蔵野市民科の内容として検討が必要な部分(内容の一貫性、詳述が必要な部分、簡略化した方がよい部分、難解な部分等)、各ページの構成、表記面 …など